

平成 30 年度「ものづくりのまち 未来人材育成事業」

募集要項

シンクボード株式会社

事業概要

新潟県燕三条地域にて開催する「ものづくりのまち 未来人材育成事業」の参加者を募集します。

多種多様な金属製品を生み出す一大産地である燕三条。年々経済発展をする背景には、職人の高齢化や後継者不足など抱える課題もたくさんあります。今回の事業を通じて、鳥の目としての客観性を持ちながら、地域内のインナーコミュニケーションを可視化しつつ、この先燕三条を舞台に活躍するローカリストを育成します。

開催概要

事業名	ものづくりのまち 未来人材育成事業
開催期間	2018 年 6 月-11 月
開催場所	新潟県燕三条地域
開催日程	6 月 25 日（月）、7 月 10 日（火）、7 月 18 日（水）-19 日（木）、8 月 1 日（水） 9 月 12 日（水）-14 日（金）、10 月 4 日（木）-7 日（日）、11 月 23 日（金）

募集内容

対象	<ul style="list-style-type: none">・ 18 歳～35 歳以下の方・ 可能な限り全日程を受講できること・ 地域に根付いた仕事をしたい方・ 燕三条のものづくり・まちづくりから学びたいひと など、そのほか所属や在住は問いません。
募集定員	6 名程度
参加費	無料（地方視察時も交通費、宿泊費一部支給予定）

申込方法

申込期限	6 月 22 日（金）12:00 まで
申込方法	別紙の「申込用紙」に必要事項を記入の上、下記申込先までメール又は FAX で提出してください。応募者多数の場合、申込用紙を元に選考します。
申込先	公益財団法人 燕三条地場産業振興センター 燕三条ブランド推進課 FAX 0256-32-5701 ・ E-mail kouba-fes@tsjiba.or.jp

講座詳細

講座内容

6月25日（月）地域を知る

講座全体ファシリテーター山本一輝氏を招き、受講者と運営者と共に、この講座の意義、未来人材とは何かを考察する。

時間／19:00-21:00

会場／燕三条地場産業振興センター

7月10日（火）地域を見据える

全国各地域のまちづくりのファシリテーター清水慎一氏の講演を聞き、燕三条の未来を見据える。この講座を通じて、一過性ではなく持続可能な自立的な地域づくりのために必要なことを想像する。

時間／19:00-21:00

会場／燕三条地場産業振興センター

7月18日（水）-19日（木）地域を伝える ライティング講座①

第一線で活躍する地域編集者たちと工場を取材し、記事にするまでを実践する。

1日目：7月18日（水）

すでに各地域で地域のことを「伝えること」を仕事にする3人の講師陣が、どのような視点で何を大事にしながら記事にしているのかという目線をディスカッション形式で学ぶ。

時間／19:00-21:00

会場／燕三条地場産業振興センター

2日目：7月19日（木）

講師陣とともに実際の工場を巡る。地域編集者である各講師がどのような視点で見て、話をし、質問しているのかを学びながら、地域を体感する。見学後には、実際に配信記事を作成、メディアで発信されるまでの流れを実践する。

時間／09:00-17:00

会場／燕三条地域内

8月1日（水）地域を伝える ライティング講座②

オンライン会議にて全国のものづくり産地を繋げ、講師陣や各受講者が作成した文章を発表しあう。この講座を通じて、視点の違いを見出し、自分なりの表現を見つける。

時間／19:00-21:00

会場／オンライン会議ツール

9月12日（水）-14日（金）九州研修視察

九州で行われているまちづくり、ものづくり事例などを視察、自分の地域に置き換え可能性を引き上げる作業を行う。

会場／九州地域

10月4日（木）-7日（日）工場の祭典ツアー対応

「燕三条 工場の祭典」期間中に開催される工場巡りでツアーアテンドを担当し、今まで受講した講座を活かし2本のツアーアテンドを通し実践する。

時間／4日間のうち少なくとも1日間

会場／燕三条広域

11月23日（金）最終シンポジウム実施報告会

「私たちから見た燕三条とは」をテーマに受講生と講師でディスカッションを行い、本事業を通して学んだ手応え、可能性、未来を通じた報告会を行う。

時間／19:00-21:00

会場／燕三条地域内

講師紹介

清水 槇一 氏（大正大学地域構想研究所 教授）



長野県小諸市生まれ。東京大学法学部卒業、日本国有鉄道（現 JR 東日本）入社。本社取締役営業部長、取締役仙台支社長などを歴任。その後（株）ジェイティービー常務取締役。ロングステイプランやシニアサマーカレッジなど着地型観光をベースとした地域交流ビジネスを打ち出す。2011年6月退任。

笹川 かおり 氏（ハフポスト日本版ニュースエディター／ブランド・マネジャー）



岐阜生まれ。出版社にて、コミックエッセイ、小説、ビジネス書など様々な書籍を手がける。2013年、ハフポスト日本版の立ち上げに参画。副編集長を経てブランド・マネジャー。働きかた、ジェンダー、LGBTQのほか、ライフスタイル領域の記事を執筆、イベントを企画。ハフポスト日本版：<https://www.huffingtonpost.jp/>

白水 高広 氏（株式会社うなぎの寝床 代表取締役）



1985年佐賀県小城市生まれ、大分大学工学部福祉環境工学科建築コース卒業。2012年7月にアンテナショップうなぎの寝床を立ち上げ、地域文化商社として成長させる。地域内システムとして機能していく商品開発を行う、代表作の久留米餅のMONPEは1型で年間生産15,000着。

うなぎの寝床：unagino-nedoko.net/

坂口 祐 氏（物語を届けるしごと／デザイナー／フォトグラファー）



1980年東京生まれ。2010年に四国に移住、経済産業省四国経済産業局にてウブマガジン『四国びと』を担当。2014年に独立し、食材が届く情報誌『四国食べる通信』や雑誌『せとうち暮らし』に関わる。徳島県唯一の村、佐那河内村の農産品のブランディングを手がけ、季刊誌『さなのごちそう便り』編集長も務める。

『物語を届けるしごと』：<https://yousakana.jp/>

山本 一輝 氏 (Idea partners 代表／プランニングディレクター)



1986年新潟県新潟市生まれ。教育、人材育成と持続可能なまちづくりをテーマに、企業・学校・NPOのパートナーとして活動。人材育成や教育の企画監修やプログラムデザイン、キャリアに関する研修・講演、地域振興企画のプランニング、ワークショップデザイン、ファシリテーションなど幅広い分野で、新潟を拠点に各地で活動中。

山倉 あゆみ氏 (シンクボード株式会社 代表取締役／プランニングディレクター)



1978年新潟県新潟市生まれ。ローカルプロジェクトにて活躍中のインタープリター集団、シンクボード株式会社代表取締役。料理人経験を生かした食農プランナーとして地域創生伴走型のコンサルティング事業を展開。ケータリングチーム、公共施設の飲食店等、食空間を楽しむ仕組みを次々と立ち上げる。

Sync board Inc. : <http://syncboard.co.jp/>